

素晴らしい人を知ることが 子どもの成長にとって大切

校長 高橋 実

新しい年を迎えました。無事に令和元年を終えることができましたのも、家庭、地域の皆様のご支援、ご協力のお陰と深く感謝申し上げます。令和2年も、職員一同心を合わせて子どもたちのために頑張っていく所存ですので、変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

その人の名前を口にするだけで、心が温かくなったり勇気が湧いたり満たされたりする人がいます。そのうちの一人が、外交官の杉原千畝氏でした。彼はドイツナチスの迫害により逃れてきた難民に（外務省の訓令に反して）大量のビザを発給し、多くの避難民を救いました。杉原千畝氏のことを知った時、自分は同じ日本人として本当に誇りに思いました。最近さらにもう一人加わりました。中村哲医師です。アフガニスタンの貧しい人々を助けるために支援活動をしてきた方でした。残念なことに、先月4日にアフガニスタンにおいて銃撃を受けお亡くなりになりました。恥ずかしながら、この事件で初めて中村哲医師のことを知りました。12月の朝会で子どもたちに話しました。「武力では絶対に平和はおとずれない。人と人との信頼関係こそがそれを成しえる。それを信じて行動した人がいる。中村哲医師だ。」と。人として崇高な魂をもった方であると尊敬の念を禁じえません。

新しい年になってすぐに、ある国が別の国を攻撃し、その国の司令官を殺害したというニュースが入ってきました。この時代にどうしてこのような事が起きるのだろう、と暗たんたる気持ちになりました。地球環境の問題も心配ですが、最近の国々のリーダーの考えの方が問題ではないかと思うのです。国のリーダー同士がお互いを挑発し合い、やがて戦争に突入していつてしまう歴史は何度も繰り返してきたのではないのでしょうか。地球温暖化で地球が滅びるよりも先に核戦争で人類が滅びてしまうのではないかと子どもたちの未来を考えた時本当に心配になります。やられた方の国は必ず報復します。報復にはさらに報復があり終わりがありません。攻撃した方の国のリーダーは、攻撃した理由を述べ、殺害を正当化しました。しかし、どんな理由があろうと、「人が人を殺してはならない」のです。人を殺すということがどういうことなのか、そのリアルさが、安全地帯で命令している人には感じられないのではないかと思います。横浜市の学校は、「いじめ防止」について熱心に取り組んでいます。しかし一方で大人社会の論理を見せつけられると、子どもの心の成育に影響が出るのではないかと不安になります。その他にも、ばれなければ嘘をつき通す、言い逃れをしたりごまかしたりする、そうしたことが大人社会で、しかも本来尊敬されるべき人たちが行っている姿は、子どもたちの社会にも少なからず影響を与えているのではないかと心配になります。正直であること、人として正しくあることの大切さを大人社会がしっかり示していく必要があると思うのです。杉原千畝氏や中村哲医師（尾畑春夫氏も！）のような人物の生きざまを子どもの周りの大人が子どもたちに伝えていくことが、そうしたことの第1歩かもしれません。